

【重要論点 刑法】(火曜日6時限)

鮎田 実

講義のねらい

本講座は、「犯罪と刑罰に関する法律」である「刑法」について、いわゆる総論・各論の基本的事項の講義・解説を行います。具体的には、年間の講義を2期に分け、第1期では、刑法総論の部分である「犯罪論」(＝構成要件、違法性、責任、未遂、共犯)を、第2期では、刑法各論の部分である「各種犯罪」(＝個人的法益に対する罪、社会的法益に対する罪、国家的法益に対する罪)を、重要な判例を交えつつ講義していくことにします。それによって、刑法体系が身に付くことを目標とします。

講義の内容・スケジュール

- 1 刑法学の基礎：刑法の意義・機能、適用範囲、刑罰、など
- 2 近代刑法学史：客観主義刑法学と主観主義刑法学、罪刑法定主義
- 3 刑法・総論：構成要件(実行行為、因果関係、構成要件の故意、など)
- 4 〃：違法性(正当防衛、緊急避難、正当行為、など)
- 5 〃：責任(責任能力、故意・過失、期待可能性、など)
- 6 〃：未遂(狭義の未遂、中止犯、不能犯)
- 7 〃：共犯(共同正犯、教唆犯、従犯、共犯と身分、など)
- 8 〃：罪数(観念的競合、併合罪)
- 9 刑法・各論：個人的法益に対する罪(生命・身体・自由・財産、など)
- 10 〃：社会的法益に対する罪(公共の平穏・信用、など)
- 11 〃：国家的法益に対する罪(国家の存立・作用、外国、など)

教科書等

- 大谷 実『刑法講義総論 [新版第5版]』成文堂 (2019年)
〃 『刑法講義各論 [新版第5版]』成文堂 (2019年)
西田典之『刑法総論 [第3版]』弘文堂 (2019年)
〃 『刑法各論 [第7版]』弘文堂 (2018年)
井田 良『講義刑法学・総論 [第3版]』有斐閣 (2023年)
〃 『講義刑法学・各論 [第3版]』有斐閣 (2023年)